**地域密着型サービス運営推進会議記録（第4回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 小規模多機能ホーム緑風会登子 |
| 施設種類 | 小規模多機能型居宅介護 |
| 開催日時 | 令和元年１２月２７日　　　１１時００分　～１１時４５分 |
| 会場 | 緑風会登子デイルーム |
| 参加者 | 利用者代表 | ０人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | １人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | ・利用者の現況報告、職員研修、行事について・自己評価、外部評価について・その他意見交換 |
|  |
| 議題 | ・利用者の現況報告について（事業所）　令和元年10月、11月の登録者の利用状況について説明する。　10月は10/8に1名の方が医療機関への入院のため、登録解除となった。　10月末時点で22名の登録者での運営となっている。（男性3名・女性19名）11月は10月と利用者数は変わらず、22名で推移している。なお、11月より新たに訪問体制強化加算の算定を開始する事となった。今までは、通い・泊りサービスをメインにサービスの組み立てをしていたが、利用者の自宅での支援の強化に事業所として力を入れてきた結果、ひと月の訪問回数が200回以上を越えたためである。今後も利用者が自宅で生活を続けていくうえで必要な支援を3つのサービスを中心に実施していきます。つづいて、10月11月の行事、研修について説明を行う。行事については過ごしやすい気候となり、外出行事を多く行った。10/5には、事業所の駐車場を使用し、屋外で「秋まつり」を開催し、模擬店ボランティアや文理大学の学生ボランティアによるエイサーやよさこいを披露していただき、参加者も非常に喜ばれていた。また、グループ内の小規模多機能施設との交流会を開催し、利用者同士が交流を図る機会を設け、今後も定期的に開催するようになった。・小規模多機能居宅介護サービス評価について（事業所）　先だって事業所で実施した「スタッフ自己評価」について報告を行う。　全体的に昨年よりも「よくできている」「なんとかできている」の項目に　自己評価をしているケースが多くなっていたが、自己評価を実施した中で　の課題としては、「地域との連携」について現場で勤務する職員があまり　実感できていないため「あまりできていない」という評価となっていた。　地域密着型事業所として、事業内での利用者に対するサービス提供はもち　ろんのこと、引き続き地域との連携においても出前講座や認知症サポーター養成講座等を通じて図っていきたいと思います。（委員）　地域との連携について、職員さんはできていないと感じているかもしれな　いが、地域行事や出前講座などをしてもらったり、一定の地域交流はでき　ていると思います。今後も、セニヤクラブの会などの際にはご協力お願いします。（委員）　成年後見制度も最近は利用する方が増えてきているが、この制度を利用したからといって全てをお願いできるわけではない。もう少し、利用する側が分かりやすい、使いやすい制度にしていく必要があると思います。（事業所）　当事業所としては、この制度を利用するケースがなかったので、職員の間にも制度に関する知識が十分ではないです。しかし、現在利用している方にも制度を活用できないかと感じる方もいます。適切な助言が行えるよう、　事業所としても研鑽を積んでいきます。 |
|  |